



第1講座 業務効率向上のための時間管理 ～時間を追いかけるマネジメント～

1. 概要

時間は誰にでも平等にありますが、時間は使い方によってリスクにも、チャンスにもなります。この講座では「業務効率向上」のために、どのように時間を味方につけ、人材不足・残業規制の社会を乗り切っていくかを考えていきます。「時間」を「業務効率向上」という視点で見直し、理論を学び現場で「実践できる」ようになることを目指します。

2. 対象者 中堅社員（3年目以上の社員の方）

- ### 3. 目標
- ・仕事の重要度/緊急度を判断する基準を理解する。
 - ・スケジュール管理とタスク管理の違いを知る。
 - ・タスク管理の実際を知り、管理方法を理解する。

4. コース内容

| 1日目 | 2日目 |
|---|---|
| <p>■タイムマネジメント手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムマネジメントの基本 ・タイムマネジメントのメリット・デメリット ・タイムマネジメントのナレッジ ・仕事の進め方の現状把握 <p>■時間管理とタスク管理(理論)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムマネジメントの基本的行動 ・タイムマネジメントを実践する為の3つのポイント <p>■まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の振り返り ・ディスカッション ・講師まとめ | <p>■時間管理とタスク管理(実践計画立案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムマネジメントの実践 ①タスクの抽出 ②優先順位の決定 ③DO！ ①～③を実際の業務にあてはめシミュレーション シミュレーションしたものをディスカッションし、それを基に実践計画を立てる <p>■時間管理を実現するための付帯作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の計画を実行するために必要なことは何か ・実践計画のブラッシュアップ <p>■まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日間のまとめと個人目標設定 ・講師まとめ |

5. 講師 有限会社アベル 蛭原 恵子氏

- ### 6. 受講料
- 会 員 5,500円（生産性向上支援訓練委託事業対象）
非会員 5,500円（生産性向上支援訓練委託事業対象）

7. 開催方法 リモート研修

8. 実施日時(募集人数:15～20名程度)

| 実施日程 | 開講時間 |
|----------|------------|
| 9月13日(水) | 9:00～17:00 |
| 9月14日(木) | 9:00～17:00 |



第2講座 プロジェクト管理技法の向上(基礎)

1. 概要

プロジェクトマネージャとして必要なプロジェクトに対する基本的な概念の把握、プロジェクト計画・運営・完了評価での留意ポイント・必要技法の紹介を行う。また、グループ演習により理論と経験の結び付けを行う。

本年度のポイント: 基本的な理解度を深めるために、アーンドバリューグラフからの状況把握演習を追加した。また、開発方法論の概要理解に XP 開発についても簡単に触れ、新しい方法論に対する認識の向上をはかる。

2. 対象者
- ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
 - ・近々にリーダー職に付く開発担当者
 - ・経験は豊富だが基礎理論の補強を希望するリーダー

3. 目標
- ・経営的な視点を持ったプロジェクト管理ができる
 - ・基本的な論理に基づいた効果的なプロジェクト管理ができる
 - ・プロセス成熟度の向上を目指すプロジェクト管理の活動が継続できるようになる

4. コース内容

| 1日目 | 2日目 |
|---|---|
| <p>■プロジェクトマネジメントの基本</p> <p>(1)プロジェクトとは</p> <p>(2)プロジェクトマネジメントの目的</p> <p>(3)経営的視点から見たプロジェクトマネジメント</p> <p>(4)プロセス成熟度を意識した運営</p> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス成熟度判定 <p>■プロジェクト計画策定の基礎</p> <p>(1)プロジェクト管理の知識体系</p> <p>(2)プロジェクト計画策定時の考え方</p> <p>(3)スケジューリングの仕方</p> <p>(4)スケジュールの短縮法</p> <p>■組織要員計画の基本的な考え方</p> <p>(1)プロジェクト組織</p> <p>(2)リソースの割り当て</p> <p>(3)コミュニケーション計画で必要なこと</p> <p>■リスク管理計画</p> <p>(1)リスク管理計画に必要な事項</p> <p>(2)リスク対応策と策定法</p> <p>■管理指標</p> <p>(1)管理指標がなぜ必要か</p> <p>(2)プロジェクトを管理するための指標とは</p> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WBS 作成とリスク対策 | <p>■プロジェクト運営管理</p> <p>(1)代表的な開発手法とその管理ポイント</p> <p>(2)代表的進捗管理ツール</p> <p>(3)進捗管理指標</p> <p>(4)リスクへの対応</p> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーンドバリューグラフからの判断 <p>■品質管理</p> <p>(1)品質とは</p> <p>(2)品質特性</p> <p>(3)品質のマネジメントポイント</p> <p>(4)レビューにおける品質管理</p> <p>(5)テストにおける品質管理</p> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理グラフからの判断 <p>■プロジェクト完了評価</p> <p>(1)なぜプロジェクトの完了評価が必要なのか</p> <p>(2)完了評価のポイント</p> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と対応策の策定 |

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 小峯 嘉明 氏

6. 受講料 会 員 5,500円 (生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円 (生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:15~20名程度)

| 実施日程 | 開講時間 |
|----------|------------|
| 9月27日(水) | 9:00~17:00 |
| 9月28日(木) | 9:00~17:00 |

第3講座 ソフトウェア・エンジニアリング(レビュー)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングはサイエンスや学問ではありません。ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされ、即時適用できる優先度の高いソフトウェア・エンジニアリングを修得します。また、自ら能動的に学習する、真のソフトウェア・エンジニアへの動機付け、および現代に求められるエンジニア特有の視点と思考を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・永続的、能動的にソフトウェア・エンジニアリングに対する興味を持つ。
 - ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるレビューの視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。

4. コース内容

| 1日目 | 2日目 |
|--|--|
| <p>■ソフトウェア・エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングとは2)エンジニアリングとサイエンスの違い3)現場への適用 <p>Practice 現場で語られる品質に関する事実</p> <p>■品質エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)品質とは2)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質3)ユーザ要求への適合性4)欠陥と欠陥除去活動(レビューとテストの違い) <p>Practice レビュー効果</p> <p>■要求エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)要求とは2)要求獲得が難しい理由3)要求エンジニアリングの How to4)要件定義で盛り込む品質特性 <p>Practice 要件定義の欠陥検出</p> <p>■レビュー技術</p> <ol style="list-style-type: none">1)レビューとは(レビューの心得)2)各種レビュー技法の概観3)設計レビューでの勘所4)品質トレーサビリティ | <p>【欠陥検出演習 Practice】仕様の検証</p> <ul style="list-style-type: none">・技術的観点・値の定義・適合性の確認 <p>【欠陥検出演習1】 要求仕様中の欠陥検出</p> <ul style="list-style-type: none">・合目的性の確認・ユーザビリティの欠陥検出・定量定義の妥当性確認 <p>【欠陥検出演習2】 外部設計書</p> <ul style="list-style-type: none">・設計書内の整合性・ユーザビリティの欠陥検出・使用検討不足の検出 <p>【欠陥検出演習3】 詳細設計書</p> <ul style="list-style-type: none">・外部設計書との整合性・設計書内の整合性・使用不備、検討不足の検出 |

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

| 実施日程 | 開講時間 |
|-----------|------------|
| 10月19日(木) | 9:00~17:00 |
| 10月20日(金) | 9:00~17:00 |

第4講座 ソフトウェア・エンジニアリング(テスト)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングはサイエンスや学問ではありません。ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされ、即時適用できる優先度の高いソフトウェア・エンジニアリングを修得します。また、自ら能動的に学習する、真のソフトウェア・エンジニアへの動機付け、および現代に求められるエンジニア特有の視点と思考を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・永続的・能動的にソフトウェア・エンジニアリングに対する興味を持つ。
 - ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるテスト設計の視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。

4. コース内容

| 1日目 | 2日目 |
|---|---|
| <p>■ソフトウェア・エンジニアリングの重要性</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングとは2)現場への適用 <p>Practice 現場で語られるテストに関する事実</p> <p>■品質エンジニアリング概論</p> <ol style="list-style-type: none">1)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質2)ユーザ要求への適合性3)要件定義で盛り込む品質特性 <p>■テスト技術</p> <ol style="list-style-type: none">1)テストとは2)コードレビュー3)単体テストの技法4)結合テストの技法5)テスト設計と設計フィードバック6)デバッグに必要な「感性」と「視点」 <p>Practice 単体テストの技法、テスト目的他</p> | <p>【テスト設計演習 Practice】</p> <ul style="list-style-type: none">・運用要件と合目的性 <p>【テスト設計演習1】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・限界値分析 <p>【テスト設計演習2】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・入力系画面のテスト設計 <p>【テスト設計演習3】 単体テスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・カバレッジ <p>【テスト設計演習4】 仕様変更のテスト設計</p> <ul style="list-style-type: none">・レグレッションテスト <p>【テスト設計演習5】</p> <ul style="list-style-type: none">・テストケースの再利用・設計フィードバック |

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

| 実施日程 | 開講時間 |
|-----------|------------|
| 11月15日(水) | 9:00~17:00 |
| 11月16日(木) | 9:00~17:00 |